

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社 ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園本鵜沼	種別：保育所	
代表者氏名：石原裕子	定員（利用人数）： 80名	
所在地：251-0027藤沢市鵜沼桜が丘3-4-16		
TEL：0466-41-9100	ホームページ：https://www.like-kn.co.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社		
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 7名	
専門職員	（専門職の名称） 名 看護師 1名	
	栄養士 3名	
	調理師 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室6	事務室、調理室、給食室、 休憩室、洗濯室、小部屋

③理念・基本方針

【理念】 のびやかに育て だいちの芽

【保育方針】 みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛 信頼・安定・共感

【めざす保育園像】 ・陽だまりのような保育園 ・地域と共に育つ保育園 ・子どもと共に輝いていける保育園

【保育目標】

＜自然を愛し、心身ともに健やかな子ども＞
歩く、走る、跳ぶなど戸外での活動をとおして、からだを動かす楽しさを知った子ども。

自然と親しみ、情緒豊かな心・知的興味や関心を育て、思考力、認識力を培い、科学的に観察する力を持った子ども。

＜自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども＞
意欲・想像を掻き立てられる環境の中で子ども自らが主体的に行動し「やってみたい」と思える子ども。

様々な遊びや実体験を通じ想像力を養いながら、正しいと思うことが分かり 自分で行動する力 困難にも立ち向かい簡単にあきらめない心を持った子ども。

＜「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども＞
相手に人権を尊重し、思いやりのある子ども。
やさしく愛され見守られる中で、人を愛したり、やさしくすることに喜びを持てる子ども。

＜自己を表現できる子ども＞
さまざまな生活の場面で、自分の思いを「自分らしく」表現できる子ども。
豊かな体験を通して物を見たり・感じたり・考えたりし、喜びや驚きを伝えられる子ども。

④施設・事業所の特徴的な取組

にじいろ保育園本鵜沼園は2015年4月1日、小田急線本鵜沼駅より徒歩3分の場所に開園した定員80名の保育園です。

1階は0, 1, 2歳児の乳児クラス、2階は3, 4, 5歳児の幼児クラスとなっています。

みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛の保育方針をモットーにし、めざす保育園像に向けて「自立に向け主体性を育む保育」をしています。主に乳児組～3歳児は一斉保育はせず「流れ保育」をしています。1日を通して個人を尊重した園生活を送れるよう、「子どもに無理をさせない」「自身が気づき動く」流れるような保育を徹底しています。

全保育室はコーナー保育を設定し、個々の好きな遊びや小集団遊びができるようになっています。夏野菜の栽培、食材に触れる食育からクッキング、雨上がりには泥んこあそび等を経験し五感を育みます。看護師による手洗い指導や歯科衛生士による歯磨き指導を実施し衛生面を意識したり、避難訓練を通して「自分の身は自分で守る」大切さを伝えています。幼児組は月2回の異年齢保育を通し、年齢を超えた交流をすることにより、互いが共感し、認め合う心を育てています。思いやりの心や助け合う心が育つ保育を実践しています。

地域交流として、近隣散歩や、就学に向けて5歳児クラスはJA（農協）さんの畑に行き、芋掘り体験・高齢者施設訪問（コロナ禍で中断）、近隣保育園起震車体験（コロナ禍で中断）、小学校見学、消防署見学、交通安全教室等、積極的に参加しています。体験後は掲示板・園だより・ブログを活用し、日々の保育も含め保護者と共有するよう努めています。保護者や地域の方の協力を得ながら、子どもの育ちを共に感じられる保育園であることを念頭に置いています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月1日（契約日） ～ 2022年10月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

組織一丸となって法人が掲げる保育の実践に取り組んでいる

園では、「子どもの尊重」や「基本的人権への配慮」を重視した保育を実践するように心掛け、家庭や保育園での子どもの様子や各家庭環境の状況等を全職員で情報共有し、定期的に状況変化の把握・評価を実施して必要な対応を行なっている。トラブル発生時には、早急に園長・主任へ報告し、改善に向け取り組み、会議等で全職員周知する体制がある。職員間ではお互いに注意し合ったり、相談しやすい良い雰囲気があり、保育士間のコミュニケーションがスムーズに図られている風通しの良い職場環境になっている。保育の質の向上に向け【にじいろの保育】を基本とし、職員全員がこれを尊重し子ども一人ひとりに合った声掛けを心掛け、チーム一丸となって取り組んでいる。

保育園内の安全対策・感染症対策を徹底に取り組んでいる

保育園内の安全対策・感染症対策の徹底に力を入れてお入り、予防策やヒヤリハットの対応、課題改善に向けての話し合いを充実させ組織一丸となって共通認識作りに取り組んでいる。園内研修では、緊急時対応訓練・嘔吐処理対応・SIDSチェック・アレルギー対応・心肺蘇生等の研修を毎年実施し、職員一人ひとりが安全管理・感染症管理対策についての認識を深める機会を充実させている。また、感染症流行の兆し

の際には情報共有や拡大予防を目指して健康観察を徹底させたり、実際に発生した際には園内掲示によって適宜情報共有することになっている。さらに、新型コロナウイルス感染症対策の充実を図り、休園せずに開所を継続させていることは、貴重な保護者支援となっていることがうかがえる。

経営層は子どもや保護者、職員とのコミュニケーションを大切にしリーダーシップを発揮している

園長は登降園時をはじめ園内を適宜ラウンドし、日常的に運営状況を把握するとともに、定例会議などの場において年間組織目標を職員に伝え進捗状況の把握に力を入れている。その際に職員には園が目指していることを具体的に提示しており、園長はじめ経営層の職員の責任や役割及び取り組むべき課題について職員に話をしている。さらに、園長は職員に対して自らの責任・役割およびそれに基づいて取り組むべき課題などを個人面談にて一人ひとりに説明し、理解を促している。保護者とが登降園時の会話、懇談会や個別面談などを通じてコミュニケーションを図り、寄り添った保育の実践に力を入れている。

今後期待される点

コロナ終息の際は地域貢献に関わる事業・活動を再開すること

コロナ禍の中、高齢者施設訪問や近隣保育園交流等地域交流が多く中止されており、また本部の方針で、体操教室、造形教室、公共交通機関を利用した園外保育は未だに中断となっている。現在も新型コロナウイルス感染症の収束の目処が付かない中の保育園運営である。これまでは把握した地域の福祉ニーズ等にもとづいて、SNSを用いて「育児相談」「体験保育」「絵本の貸し出し」、芋ほり体験、地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行ってきた。今後園長は、本鵜沼園が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや、専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行ない、多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず地域コミュニティの活性化や街づくりなど、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施していきたいとしており、その実現が期待される。

人員体制をさらに充実させ、さらに保育の質の向上を図ること

園と法人本部連携のもと、職場環境や職員の健康管理・ストレスチェックなどに努め、職員の就業状況を把握している。さらに定期・不定期に個別面談やアンケートなどを実施し、職員の意識状況を把握して職員の意欲や夫々の特性や個性を尊重しつつ、充分にその能力が発揮できるよう見守り、コミュニケーションを図りながら働きやすい職場環境作りに力を入れている。ただし、現在の社会情勢や人員体制においては、地域支援・保護者支援を含む保育園運営の難しさを園では痛感している。保育所保育指針の養護と教育の観点の保育においても、保護者の要望に答えきれない面が多々あることを課題としている。人員配置基準が厳しいことが、職員・保護者・子どもに負担をかけていないかという視点を持ちつつ、園独自では改善策を見出すことが困難なことを認識している。

園舎内の補強や修繕をさらに充実させること

子どもが自己肯定感を持ち、自信にあふれ意欲を持って活動できるような環境作りに力を入れており、子どもが自ら考え創造し個々の力を発揮し成長出来るようにしている。また、環境整備担当が主になり、定期的点検を行い修繕が必要な時は園長へ報告している。各クラス事故防止チェックを毎週行い、保育園安全点検チェックは月一回

実施している。ただし、開園して8年目を迎えて修繕箇所が増え、修理が追い付いていないことを園では認識している。安全点検をもとに適宜補強に取り組み、テラスの隙間、網戸外れ、2階非常階段踊り場タイル等、園内で修繕して安全面を最優先にしている。さらに、早め早めに対応することを目指している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

5年ぶりに第三者評価を受審するにあたり、前回の評価結果を見直す作業から始めました。
職員全員で保育ガイドを見直すことにより「自園はできている」という思い込みに気付くことができました。
保護者アンケートによる貴重なご意見や「今度期待される点」において、全職員で確認し子ども中心の地域に根付いたより良い保育園を目指して参りたいと思います

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり